

令和3年度 入学式式辞

今年は桜の開花も早く、ここ大庭宮山も、春深まり新緑へと向かう今日の佳き日、学校法人湊南学園 立正大学湊南高等学校 令和3年度入学式を本日ここに無事挙行することができました。

ご家族の皆様、本日はご子女のご入学まことにおめでとうございませう。大切にご養育なされたお子様を本校にお預けいただき、心より感謝申し上げます。これから3年間、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。本校は今年創立六〇周年を迎えます。この節目の年に、数ある高校の中から本校を選び、全国各地から入学してきた希望溢れる皆さんを、学校を代表して心より歓迎いたします。在校生諸君も今各教室にてオンラインで式典に参加し、皆さんの入学を祝福してくれています。

本校は、全校生徒の多くが勉強と部活動に日々励み、サッカー部、野球部、射撃部、マーチングバンド部が四本柱となって、常に全国レベルの活躍を続けています。そしてその活躍を学校全体で喜ぶ良き校風があり、絆を深め明るく活発な学校生活を送っています。

この度、創立六〇周年という新たなる出発にあたり、玄関のシンボルツリーとして神代曙桜を、また校庭に五〇本の桜を植樹しました。日本人は「花」といえば「桜」、そうイメージする人も多く、昔から「春を象徴する花」として親しまれてきました。和歌や俳句、絵画など日本文化にも大きな影響を与えており、長い歴史の中で、この国の人々は「桜と共に生きてきた」ともいえるでしょう。

春に満開となる桜は、その美しさから人の心に明るさや温もりを与え、新生活をスタートする人々の希望のシンボルにもなります。今回の記念植樹には、生徒の皆さんがこれから大樹へと成長し、将来満開の花を咲かせ、周囲の人々に明るさや喜び、希望を与える存在になってほしいと願いを込めました。

実は、桜には山桜や染井吉野をはじめ様々な種類があります。今回植樹した桜も、神代曙桜、陽光桜、御衣黄、御車返しなど、花の色や形、咲く時期も少しずつ異なっています。同じ桜でも違いがあるように、私たち一人一人にも個性があります。本校での3年間で成長するタイミングやその度合いも違ってくるのは当然のこと。しかし違いがあろうとも、焦らずしっかり根を張るように着実に努力を積み重ねていくことが飛躍のチャンスに繋がります。

ダイバーシティ時代という多様性が重視される現代では、個性を大切にし、長所を伸ばすことがとても重要です。自分の個性、自分の長所、その根源的な本性を大切にするということは、他者にもまた同じようにその人が大事にする個性や長所があるということ。縁あって出会う人々の良いところや優れたところを認め理解することで共に力を合わせる共生の意識が育まれていくのです。

皆さんの中には一人一人「他の人にはない自分にしかない優れたところが必ずあります」。その唯一無二の個性を磨きあげて、それぞれの目標に向かって果敢にチャレンジしていきましょう。そして「自分一人で生きているのではない」ということを知ることも大切です。家族に感謝し、先生や新しい仲間、支えてくれる多くの人々に感謝を深めることで、皆さんは次の高いレベルへと必ずや進んでいけるはずでせう。これから皆さんの成長の為に、私たち教職員は誠心誠意努力を続けてまいります。他の高校では味わえない充実感に満ちた3年間を共に過ごし、創立六〇周年を迎える立正大湊南の新たな伝統を一緒につくっていきましょう。

前途に無限の可能性を持つ新入生皆さんのこれからの活躍を、今日お集まりの皆様と共に、大いに期待し、心からエールを送って私の式辞といたします。3年間よろしくお願ひいたします。

令和3年4月8日

校長 北村 直樹